

■ 田中のりこが掲げた目標、どこまでできたか

目 標	おもな成果
保育の質の向上など子育て環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 市立保育園の職員不足による待機児童対策に取り組んだ。 ● 任期付き任用制度による保育士の新採用実現。 ● 臨時保育士の処遇改善を実現。 <p>保育園の民営化になっても、より、保育の充実ができる財源確保を求めた。</p> 
子どもが安心して学べる教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 第二給食センター建設も視野に入れ、市が計画案策定。 ● 就学援助費入学準備金を入学後支給から入学前に変更。中学入学時は2017年度から、小学校入学時は2018年度から実施。 ● 小中学校の普通教室にエアコン設置の予算化を検討。 
社会から孤立しないための生活弱者へのサポート	<ul style="list-style-type: none"> ● こどもの貧困の現状を調べ「木更津市のこどもの貧困白書」を発行。 ● 障害者のケアプラン作成、介護保険と障害福祉サービスなどの現状と課題を明らかにした。
在宅介護・在宅医療をしやすいまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 国の介護政策は「施設から在宅へ」移行中であり、ショートステイ利用の現状と課題を明らかにした。 
生活に必要な交通の便を確保	<ul style="list-style-type: none"> ● 訪問型サービスD「移動支援」の実施に向けたルールを2018年度中に市が作成し、関係するNPO団体などに説明となる。
女性の視点で財政をわかりやすく情報公開	<ul style="list-style-type: none"> ● ネットワーク通信や議会速報で予算や決算をわかりやすく掲載。 ● 「市民目線で作った木更津市の財政白書」を発行。 ● 木更津市の財政計画と実際の予算や決算が、かけ離れたものになっていないか、行財政をチェックした。 
基本はいのちと平和 (市民ネットワーク千葉県統一の目標)	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民の安全確保の視点で、米軍オスプレイの飛行高度など問いただし、わからないことがなにかが分かった。 ● 陸上自衛隊の暫定配備を検討の報道があり、佐賀に行き、地元の声をきき、通信や議会速報に掲載することで、木更津市民も情報共有できるように努めた。 ● 公共施設(学校も含む)のPCB廃棄物を一括保管、計画的な処理の実現に向け、所管課ができる。
市民の声からまちづくり (市民ネットワークの基本)	<ul style="list-style-type: none"> ● 避難所(学校の体育館)のスロープ・トイレを調べ、早急な改修を求め、次期計画に盛り込む。 ● たばこのポイ捨て禁止の啓発に、駅前の路上表示。 ● 規則改正し林道の通行の許可期間、状況を市民が把握可能となる。 ● 中央公民館利用者の利便性を求め、市営駐車場は無料に。